



そのき



2020年10月 日 ()
新潟市立曾野木小学校 学校だより
第266号
<http://www.sonoki-e.city-niigata.ed.jp/>

限られた時間、環境の中でも全力を尽くしたスポーツ DAY

校長 青木 清美

前夜までの強い雨。スポーツ DAY を「できるかなあ」と思っていた方も多かったことでしょう。しかし、「是非やりたい」という強い願いが通じました。当日、雨も上がり、グラウンドを整備し、スポーツ DAY を開催することができました。

【新型コロナウイルス対応で・・・例年と異なる運動会】

例年だと「思いっきり大きな声を轟かせて応援しよう」でしたが、今年はそれができません。どうしたらよいか、教職員も考えました。子どもたちとも相談して、「6年生だけで」、「拍手」「ペットボトルに石を詰めて鳴らす」「パフォーマンスで」等の応援にしました。

また、全学年がグラウンドに出るのでなく、学年部ごとに競技を行う、保護者の皆様の参観も制限を掛ける。応援も拍手と心の中で叫んでいただく。・・・コロナ対応を余儀なくされました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

【限られた時間での練習でしたが・・・最後まで全力を出した姿】

- 順位に関係なく、最後まで精一杯走りゴールした姿(大きな拍手が起きました。)
- 体を思い切り動かして、ライディーンを踊った姿
- 体全体を使ってダンスをして、紅白の玉をかごに向かって投げる姿
- ボールが落ちてても、すぐに拾い、また4～5人の力を合わせて運ぶ姿
- 少しぬかるんだグラウンドでも、歯を食いしばって綱を引っ張る姿

※因みに綱引きの綱は、斜めに置きました。場所だけで決まるのでなくて、「力を集めた方が強い」という姿も見ることができました。

このような姿は私たちに元気を与えてくれました。しかし、それは競技だけではありませんでした。最高学年6年生の姿です。

【自分のため、そして全校のために仕事をした6年生】

6年生は最初から最後まで、応援、用具、救護、放送の仕事をやってくれました。全員が応援団、ほかの学年の応援はないということで、拍手、ペットボトル鳴らし、旗振り、パフォーマンス・・・6年生のパワーが表れていました。

仕事も協力して手際よくやってくれ、各学年部の競技がスムーズに進みました。

6年生は、今後も「誰かのために仕事をする」ことがあることでしょう。その時、嫌だなあと思うかもしれませんが、是非進んで取り組んでほしいものです。

【円滑な運営にご協力いただいた皆様へ感謝】

最後になりましたが、円滑な運営にご協力いただいたPTA本部役員、子どもたちの活躍する姿をカメラに収めたPTA広報部の皆様、また、大勢の方のサポートとエールをいただいたことに感謝申し上げます。

いつも学校の教育活動、校内外の環境美化、子どもたちの安全な登下校に、ご支援とご協力をいただいている地域の皆様からも、来年度は、運動会においでいただけることを祈っています。

